

授業科目名	栄養・生化学		担当教員		科目ナンバリング NB247
必修	開講年次：2年後期	単位：2単位	授業形態：講義30時間		

【授業概要】

食生活が人間の健康や病気に与える影響は大きい。特に最近、ライフスタイルのひとつである食事習慣は生活習慣病予防に重要な位置を占めている。将来看護師としてより効果的な援助者となるため、栄養学の生化学的基礎や人間のライフステージに沿った栄養管理についての知識について学ぶ。

【達成目標】

チーム医療の一員の看護師として必要な基本的な生化学の知識を身につけ、かつ栄養サポートの実践を中心的に担う能力を得る。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] 序 生きているとはどういうことか 人の体とエネルギーの関係
- [02] 糖の種類と性質
- [03] 糖からエネルギーを得る仕組み
- [04] 脂質の構造と性質 脂質の輸送と代謝
- [05] 脂質からエネルギーを得る仕組み
- [06] ビタミンとミネラルのはたらき
- [07] 細胞の構造と機能
- [08] DNA の構造とはたらき
- [09] DNA からタンパク質へ
- [10] タンパク質のはたらき、タンパク質の分解
- [11] 細胞の情報伝達
- [12] ここまでの復習と補足
- [13] 看護と栄養(1) 栄養管理 栄養補給法 エネルギー代謝
- [14] 看護と栄養(2) 食物の消化と栄養素の吸収、代謝(生理学の観点から消化器の役割を見直す)
- [15] 看護と栄養(3) 臨床栄養(栄養サポートチームにおける看護師の役割、病院食 経腸栄養製品 静脈栄養 浸透圧と点滴)

【教科書】

吉村成弘(2015). 身近な生物学, 羊土社
1～12回は教科書に沿って授業を行う。入手して予習復習に活用すること。

【参考書】

「人体の構造と機能(3) 栄養学 (第13版)」小野章史ら著 医学書院
13～15回は参考書を利用して授業を行う。要旨を提供する。

【評価方法・評価基準】

定期試験の成績95%、授業参加の積極性の評価を5%とし、総合して評価する。

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：次回の講義部分の教科書の項目を事前に読み、理解を深めておくこと。(1時間)
事後学習：授業で話した内容を教科書でよく確認しておくこと。(1時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ、根拠に基づいた看護実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

各回宿題を課し、次回の授業でそれについて詳しく解説する。

【備考】

人間機能学(形態と機能)とあわせて、人体の機能の基礎を学ぶ重要な科目となる。